

profile

プロフィール



会田 莉凡

Violin

抜群のステージ・プレゼンスを誇るアーティスト。2012 年の日本音楽コンクールをはじめとする内外のコンクールに優勝し、旺盛な演奏活動を展開中の若手ヴァイオリニスト。今年も高関健指揮東京シティ・フィルとバルトークの協奏曲第 2 番、円光寺雅彦指揮九州交響楽団とラロのスペイン交響曲を弾き、絶賛を博す。桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースで学び、前述の日本音楽コンクールではヴァイオリン部門の第 1 位のみならず、全部門の中で最も印象的だった演奏家・作品に贈られる増沢賞も受賞。ルーマニア、ザルツブルクのコンクールにも優勝している。東京・春・音楽祭、セイジオザワ松本フェスティバル（サイトウ・キネン・オーケストラ）、宮崎国際音楽祭、別府アルゲリッチ音楽祭、水戸室内管弦楽団などにも参加。CHANEL ビグマリオンデイズ 2014 アーティストに選ばれ、イザイの無伴奏ソナタ全曲演奏を含むシリーズに出演した。ソロのほか、東京フィルや九州交響楽団のゲストコンサートマスター、クアルテット奥志賀のメンバー、室内楽のリーダーとしても活躍中。現在徳永二男に師事。

須関 裕子

Piano

この 10 月にもギリシス生誕 100 周年を記念した公演（東京文化会館で開催）に招かれ、シューマンのピアノ・ソナタ第 1 番を披露するなど、第一線で活躍中の若手ピアニスト。今年の夏は霧島国際音楽祭 & 講習会のアーティストにも迎えられた。ソロはもちろんのこと、内外のヴァイオリニスト、チェリストからの共演のリクエストが相次ぐピアニストで、とくにチェリスト堤剛の信頼が厚い。堤の CD〈オリオン〉でも共演している。ヴァイオリンの会田莉凡、南紫音との共演も多い。桐朋学園大学・同研究科で学び、第 2 回チェルニー＝ステファンスカ国際ピアノコンクール第 1 位、第 18 回園田高弘ピアノコンクール第 3 位、第 16 回宝塚ベガ音楽コンクール第 1 位、ドイツで開催された第 3 回国際室内楽アカデミーのグランプリなどに輝く。近年、秋山和慶指揮大阪フィルハーモニー交響楽団とベートーヴェンの三重協奏曲を共演。鈴木秀美指揮静岡交響楽団とのステージも喝采に包まれた。NHK-FM にも度々出演。これまでに亀吉（あきよし）慶子、寺西昭子、ミハイル・ヴォスクレセンスキー、野平一郎、野平多美に師事。



奥田 佳道

（音楽評論家）1962 年東京生れ。ヴァイオリンを学んだ後、ドイツ文学、西洋音楽史を専攻。ウィーン大学に留学。多彩な執筆、講演活動の他、NHK、WOWOW、クラシカ・ジャパンの音楽番組に出演。1997 年から毎年、FM などでウィーン・フィルニューイヤーコンサート生中継の解説を行なっている。2008 年から 2015 年まで NHK 音楽祭のプレトークを担当。現在 NHK-FM「オペラ・ファンタスティカ」パーソナリティのひとり。「ラジオ深夜便 奥田佳道のクラシックの遺伝子」に出演中。著書に「これがヴァイオリンの銘器だ」他。

主催 “一般財団法人山岡記念財団” とは。

ヤンマー創業者山岡孫吉は、ドイツ、ドルフ・ディーゼル博士が発明したディーゼルエンジンの小型実用化に成功し世界中にディーゼルエンジンを普及させました。そのため、創業以来ヤンマーグループは、ドイツの技術・文化への感謝の気持ちは現在も変わることなく継続しております。この感謝の念にもとづき、日本及びドイツ両国の文化交流を行い、社会の持続的な発展のために寄与する事を目的としています。

会場までの交通のご案内



電車・バスなど公共交通機関でお越しのお客様
JR北陸本線長浜駅より徒歩で約 10 分

車などでお越しのお客様
北陸自動車道長浜 I.C. より車で約 10 分

無料シャトルバスのご案内
JR長浜駅（西口）より土日祝日のみ運行
バスの時刻等の詳細はヤンマーミュージアムWEBサイト
(<http://www.yanmar.com/jp/museum/>) をご確認ください。

コンサートの目的

ドイツのバロック音楽やロマン派の音楽を最高のクオリティによる演奏で、次世代を担う子供たち、また親世代に提供し、公演を通じて、演奏家と聴き手で創造の喜びを分かち合いたい。ライブ演奏の素晴らしさを感じて戴くと同時に、曲間に親しみやすい解説を交え、若い聞き手が、クラシック音楽やアーティストを身近に感じ、また日本とドイツの交流の歴史に思いを寄せ、文化、芸術等を愛する気持ちを育んでゆきたいと考えています。